

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



ジョヤコアナヘカムセアエゲン

ランチ時のお箸について、気になる点がありましたので投稿させていただきます。

もともと娘は年中の時からお箸が正しく持てず、時々注意はしていたものの、ずっとなおりませんでした。

小学生になり、さすがにこのままではまずい、いい加減腰をすえて親も一緒に取り組む必要があると感じたため、今年の夏休みの目標は「お箸を正しくもつ」にしました。

そして「いまさら聞けない箸の持ち方レッスン」という本を読み、どのように娘に教えたらいいか研究しました。

この本には、子どもに適したお箸の長さは基本的に靴のサイズと同じであり、成長と共にお箸も買い替える必要があると書かれており、目からうろこでした。

家で使っていた幼児用のお箸は少し短かったので、さっそく娘のサイズに合ったお箸を購入しました。

そういえば、学校のランチ時のお箸はどうしてるんだろうと娘に尋ねたら、「割りばしが配られるけど、お箸を持ってきてる子もいるよ。」と教えてくれました。

入学してからお箸について特に気にしたこともありませんでしたが、ちゃんとお箸を持ってきてる子もいるのか！と驚きました。

そして休み明けから、我が家もマイ箸を持たせることにしました。

2週間くらいして、たまたまお箸を忘れた日があったのですが、「割りばしは長くて使いにくいから、ちゃんと明日はお箸をもっていく。」と本人が自分で準備をしていました。

第1Qの時もずっと割りばしで使いにくかったはずなのに、それを問題と意識してなかったんだなと気づきました。

こういう事は大人が気づいてあげないと、子どもはそういうものかと思い込んで、もっといい方法があることに気づかないんでしょうね。

親として至らなかったことを反省しました。

そもそも割りばしは長さが（とくに低学年は）児童に合わず、さらに毎食使い捨てるのは資源の無駄でありSDGsにも反しますよね。

入学時に学校側から、お箸の持参を推奨するアナウンスはあってもいいんじゃないかと個人的には思います。

ちなみに娘は本に記載していたやり方で毎日練習したら、1週間くらいで大豆も上手にはさめるようになったので、子どもの吸収力に改めて感心しました。

一緒に練習をやりたがった年中の次女も、いつの間にかきれいにお箸がもてるようになったという嬉しいおまけもありました。

渡辺先生は教師であり保護者でもあるので、お箸について何かお考えがあれば、ぜひコスモスハーモニーで紹介していただきたいです。”

PN.「AYA」さんより

AYAさん、箸に関するご投稿、ありがとうございます。

「箸についてのお考え」、そこまで深いものがあるわけではないのですが、せっかく質問いただいたので思うところを書かせていただきます。

まず、マイ箸について管理職に確認したところ、「希望いただければ特に禁止はしておりません」との回答をもらいました。

現状では、各クラス数人ほどがマイ箸を持ってきていて、それを使っている状態です。（箸が苦手な場合は、フォーク・スプーンを持ってきている場合もあります）

ですので、希望されるご家庭については、随時マイ箸を持たせていただいて構いません。

また、持ち方の観点からいうと、実は鉛筆の持ち方と箸の持ち方は連動していて、鉛筆が正しく持てるようになることは箸を正しく持てるようになることを助けますし、その逆もまた然りです。

以前にコスモスハーモニーで伝えた通り、一本の鉛筆なり箸なりを「**三点支持**」で**力むことなく持つこと**が基本です。

これができるようになると、鉛筆や箸が正しく持てるようになります。

『今更聞けない箸の持ち方レッスン』の紹介もありがとうございます。

先ほど早速購入したので、私も読んでみようと思います。

ちなみに、我が家では下の子ども二人は、右のような補助付きの箸で持ち方の練習をしています。

長さもそうですが、正しいフォームを身に着ける上では、こうした「補助」や「サポート」が有効な場合が多いので、随時私も情報を収集しているところです。



また SDGs の観点で言うと、木材を使用した割りばしの是非が問われることがあります。こうした賛否があるポイントは絶好の教材にもなったりします。

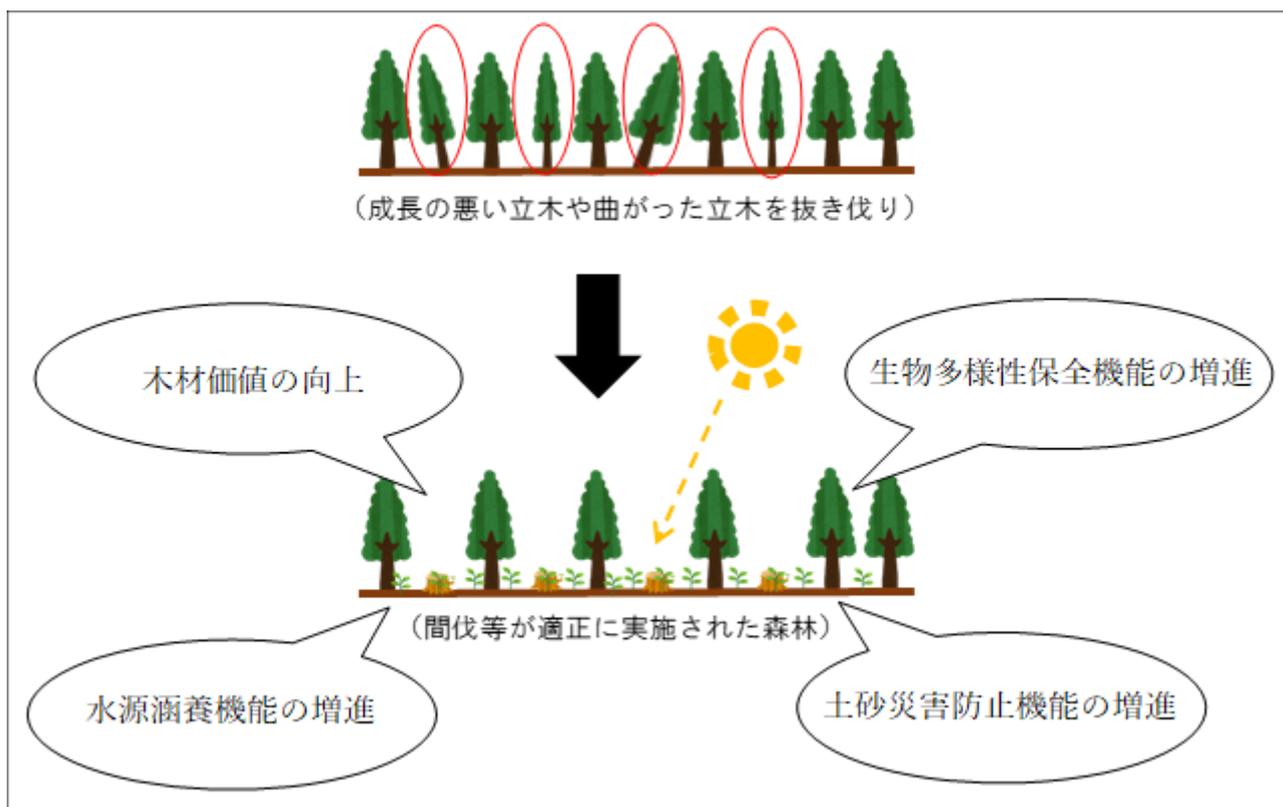
例えば先日、1年生の子どもたちは「SOLANの森をもっとよくしよう」というテーマについて調べる中で、初めて「間伐」というものを知りました。

木はただ植えれば大きく育つわけではなく、ある程度成長したところで適切に間伐を行うことで、太くてまっすぐな木々が育つと言われています。こうすることで、日光が一本一本の木にしっかり当たるようになり、成長を助けていくからです。

さらに、太くて大きな木が育つことは、森の環境を豊かにすることにつながります。

地表にも緑が茂るようになり、根が太く深く地中に伸びることで、生物の多様性が守られたり、水源が涵養されるようになり、土砂災害を防止する働きが強まっていきます。

森を育て、豊かにするために、この間伐が大切な役割を果たしています。



(間伐等を適切に実施している森林)

- ・ 明るい
- ・ 地表に植物が生えている
- ・ 根がみえない
- ・ 木が太くてまっすぐ



(間伐等を適切に実施していない森林)

- ・ 暗い
- ・ 地表に植物が生えていない
- ・ 根がむきだし
- ・ 木が細くて曲がっている

割りばしには、この間伐材が主に使われている現状があります。間伐材の適切利用という観点から、割りばし産業という仕事が存在していることにもまた大切な意味があるでしょう。

箸を洗うにも水が必要ですが、木と同じように水もまた大切です。

SDGsにも、森を守る目標があれば水を守る目標もあり、さらには産業や働きがいを守る目標もあるため、中々議論は複雑です。

でも、だからこそ、こうした賛否がある点は絶好の教材になります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



以前、6年生を担当した時に「マイ箸運動に賛成か反対か」というテーマでディベートをしたことがあるのですが、それはそれは大いに盛り上がり、授業終了のチャイムが鳴っても議論を続ける子どもたちの姿が見られました。

賛成派には賛成派のロジックがあり、反対派には反対派のロジックがあり、それぞれに大切な考えをもっているからこそ議論が盛り上がるのです。

AYAさんの投稿にもあるように、「箸」という観点からもいろんな学びや気づきが生まれそうですね。

子どもたちは、今「森」について勉強を進めているところなので、またその辺りとも関連しながら学習を進めていきたいと思います。

“いつもコスモスハーモニーを夫婦で楽しませていただいております。

No.65の「指示・説明は、長いほど分かりにくい」の部分は読んでいてまさにその通りとハッとさせられました。

こどもへの対応はもちろんですが、仕事の中でもまさにこれだと感じました。

いくら大人になったとしても、記憶できレベルには限界があることは分かっているようで分かっていない人が多いのだと感じました。

長時間、注意や指導し続けている上司等がおりますが、聞いている側は途

中で集中力が欠け、早く終わらないか考えているようにみえることが多々あります。

指導している側からすると、こんなに長い時間割いて相手のために話してあげたと自己満足しているような方もみえます。

私の職場では持ち回りの発表があるので、次回この件を取り上げてみたいと思います。

コスモスハーモニーは私の力水になっております。学校のことが分かる通信であり、こどもを育てる教育書でもあり、ビジネスや社会でも使える考え方を学ぶ機会にもなっており本当に感謝しております。

お忙しい中、いつもたくさんの投稿をありがとうございます。

これからも楽しみにしております。

PN.「みっけ」さんより

みっけさん、素敵な言葉のプレゼントをありがとうございます。

書いている私にとってみれば、このような感想をいただけることが何よりの力水です。

私など極めて単純ですから、こうした温かい言葉をかけていただくと即座にエネルギーが全開になります。(ちなみに動物占いは“サル”です。)

気づいたら木に登っていることも少なくありません。

みっけさんのおかげで、また駆け登る元気が湧いてきました。

指示・説明の話について、せっかく感想を寄せていただいたので、この前の通信で割愛したところについて加筆しようと思います。

「ジョヤコアナハカムセアエゲン」

このカタカナの文字列が意味することはなんでしょうか。

子どもたちにも、例えば小学校6年生ならば同じように問うことがあります。

黒板にこのカタカナ群を書き、

どんな意味が隠れていますか？

と、問うわけです。

最初に見せた時は、たいてい全員が「？」状態となります。

そこから少しだけ時間をとると、数人が「分かった！」と気づき始めるといいうわば暗号文のようなものです。

下のページに行く前に、ぜひ一度考えてみて下さい。

実はこれ、私が大学生の頃に教授から教わったものです。

ジ	ョ	ヤ	コ	ア	ナ	ヘ	カ	ム	セ	ア	エ	ゲン
縄		弥	古	飛	奈	平	鎌	室	戦	安	江	現
文		生	墳	鳥	良	安	倉	町	国	土	戸	代

簡単にいえば、時代区分とその順番を覚えるためのおまじないのようなものです。

同様のものでも有名なところをあげれば、元素記号や惑星の並び方があるでしょうか。

教授は、「私は学生の頃、こうやって勉強したものだ」と笑いながら言っていました。知識のしまい方としては実は非常に有効なものです。

以前に、1度見たり聞いたりして得た「短期記憶」は「海馬」という部分に送られることをお伝えしたことがありました。

脳は通常、いくつもの情報を並行して保持することが出来ません。

例えば、以下に並べた数字をどれくらい覚えられますでしょうか。

以前も一度書きましたが、再度挑戦してみてください。

8	4	6	3	2	0	1	7	2	0	3	4	6	9	5	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

いかがだったでしょうか。

人間の短期記憶の容量は、 4 ± 1 チャンク(1チャンクとは意味のまとまり)と言われていることを先日お伝えしたところです。

つまり、容量が少なめな人で3個程度。

多い人でも5個ほどが限界だと言われています。

対して、子どもの短期記憶は大人に比べてぐっと少ない事が研究として分かっています。

それも人によって違いますが、1個や2個という場合もあります。

つまり、多くの情報をとどめたり処理することが難しいのです。

そういう時には、できるだけシンプルに伝えてあげることが大切だということを前回書きましたが、実は他にも方法があります。

それは塊にまとめたり、ラベルを付けるといいのです。

例えば、先の数字群は

8	4	6	3	2	0	1	7	2	0	3	4	6	9	5	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

と塊にまとめるだけで、格段に覚えやすくなります。

電話番号なども、同じように覚えている人もきっと多いはずですよ。

また、先ほどの「縄文、弥生、古墳・・・」の時代区分も、全部覚えると12チャンクにもなり、短期記憶の容量をオーバーしています。

覚えるのにも苦勞を伴うことでしょう。

しかし、先のおまじないとして覚えてしまえば、上手にやればわずか1チャンクです。

唱えやすいように、どこかで区切って2～3チャンクにしても構いません。何度か唱えて覚えることは、そこまで大変ではないでしょう。

これは簡単にいえば、脳という道具箱を整理して、引き出しにラベルを付けたようなものです。

「ジヨは縄文、ヤは弥生」という具合に、ラベリングのおまじないをもとに知識をすっと出していくことができます。さらにもう一歩記憶を強くする方法があるのですが、紙幅が尽きました。(またの機会に紹介します)

みっけさんの力水のおかげで、タイピングを打つ手がいつもよりリズムカルに動きました。ありがとうございます。(渡辺道治)

☆【先生の得意技紹介します】☆のコーナー



オリバー先生は、絵がとてもお上手です。

(投稿企画に多数のご参加をいただき、心から感激しております。気軽に楽しくご参加いただければ幸いです。)

- ① 小学生時代のおススメ本…「読書は、宝の山への旅」そんな言葉があります。新しい考え方に出会い、新しい言葉を知り、時には冒険し、時には迷い、そして時に感涙する。価値ある本との出会いは、人生を豊かにしてくれます。そこで、みなさんが小学生時代に読んだおススメの本を教えてください。「お父さんやお母さんが子供のころに読んだおススメの本」という言葉の響きは、子どもたちの読書熱をさらに高めてくれることと思います。
- ② 小さい頃の夏休みの思い出…先日、あるクラスの学活で「夏休みの思い出を守れゲーム」というレクを行ったそうです。自分の夏休みの思い出を5枚の短冊に書き、先生がそれを当てに行くというゲームなのですが、その中で外国人の先生が「スイカ割りをした人？」を尋ねると、なんと1人も手が上がらなかったそうです。夏休みの代名詞のようなスイカ割り文化も、現代では少しずつ変わってきているのかもしれませんが。そこで、お家の方々の子どもの頃の思い出をいろんな角度から教えていただければと思います。古き良き時代の文化に子どもたちが興味を持つきっかけにもなりそうです。

↓↓↓ご参加、お待ちしております↓↓↓

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](http://google.com)